

どなたでも
入場無料

日本妊娠高血圧学会 第5回市民公開講座

妊娠高血圧症候群経験者と
妊娠高血圧ヘルスケアプロバイダーと
ともに考える

当事者の声がつなぐ 未来へのメッセージ

2026年9月26日(土) 16:00~17:00

オービックホール 2F | 大阪府大阪市中央区平野町4丁目2-3
オービック御堂筋ビル 2F

妊娠中に血圧が高くなった経験は、今の血圧が落ち着いていても、将来の健康や、次の妊娠を考えるうえで大切な手がかりになることがあります。本講座では、医師によるミニレクチャーと、妊娠中に血圧が高くなった経験のあるお母さんと妊娠高血圧ヘルスケアプロバイダー(HCP)による対談を通して、産後の血圧管理や健康づくりについて一緒に考えます。

妊娠高血圧ヘルスケアプロバイダー(HCP)とは
妊娠前から産後までの健康づくりについて正しい知識を持ち、必要な情報提供や、適切な医療への橋渡しを行う医療従事者です。

講演

妊娠高血圧症候群に罹患した女性の生涯の健康を守るために

川崎医科大学 産婦人科学 主任教授 味村 和哉

対談

経験者とともに考える、よりよい支援のかたち

妊娠高血圧症候群経験者、妊娠高血圧ヘルスケアプロバイダー 助産師 坂本 ゆみ

司会進行・対談

昭和医科大学医学部産婦人科学講座 准教授

小出 馨子

国立成育医療研究センター 女性の健康総合センター プレコンセプションケアセンター 医長 三戸 麻子

主催：日本妊娠高血圧学会

お問い合わせ先：日本妊娠高血圧学会事務局 ☒ jsshp@tplus-group.co.jp

お申し込みは
こちら

